

高陽地域・白木地域活性化プラン（概要版）



2025 年(令和7年)3月

高陽地域・白木地域活性化プラン作成検討ワークショップ

1 活性化プランの趣旨

安佐北区の高陽地域・白木地域において、JR 芸備線を軸とした両地域の活性化を図るため、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」等を両地域の住民が主体となって話し合うためのワークショップを開催し、その検討結果を『高陽地域・白木地域活性化プラン』として取りまとめました。

この活性化プランの実行に当たっては、地域団体や関係機関など多様な主体による連携が不可欠となることから、プランに記載している方向性等を広く共有しながら、地域全体が一丸となっ

2 対象エリア

対象エリアは、安佐北区のうち、JR 芸備線の沿線に位置する高陽地域、白木地域とします。



3 地域の現況

(1) 人口

高陽地域の人口（令和 2 年）は、58,512 人で、平成 17 年からの 15 年間で約 6,000 人減少するとともに 65 歳以上の人口は平成 17 年からの 15 年間で約 8,600 人増加。

白木地域の人口（令和 2 年）は、7,446 人で、平成 17 年からの 15 年間で約 2,300 人減少するとともに 15 歳未満の人口は平成 17 年からの 15 年間で約 500 人減少。

(2) 高齢化率

高陽地域、白木地域ともに高齢化が進行しており、令和 2 年の高齢化率（65 歳以上が占める割合）は、高陽地域で 33.2%、白木地域で 45.3%となっている。

(3) 児童数・生徒数

高陽地域の児童数・生徒数（令和 6 年）は、4,249 人で、平成 21 年からの 15 年間で約 1,700 人減少。白木地域の児童数・生徒数（令和 6 年）は、244 人で、平成 21 年からの 15 年間で約 350 人減少。

4 地域の課題等

ワークショップを通じて、両地域における課題や今後の展開を整理しました。

住みよさ	➤ 若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすい環境づくり ➤ 芸備線へのアクセス性の向上を始めとした公共交通・道路網の整備・充実 等
安全・安心	➤ 高齢者・子どもの見守りによる安心して暮らせる地域づくり ➤ みんなで支え合える環境づくり 等
人が集まる・にぎわい・楽しい	➤ 地域のお祭りや伝統行事等の継承 ➤ 地域の活動団体の維持（継続化） 等
自然	➤ 自然を生かし、守り、育て、みんなが集まり交流（体験）できる機会・場の創出
その他	➤ まちから出た若者を呼び戻せるような地域づくり ➤ 自分の住む地域を他の地域の人に自信を持って言えるような地域づくり 等

5 地域の目指すべき姿

ワークショップでの意見や検討結果を踏まえて、両地域やそれぞれの地域の目指すべき姿を整理しました。

【両地域の目指すべき姿】

“地域の良さ”や“つながり”を活かし、いつまでも安心して暮らせる地域

(主な意見)

- ・多様な世代がいつまでも安心して暮らせるまちづくり
- ・人と人のつながりを活かしたにぎわいのあるまちづくり など

【高陽地域の目指すべき姿】

多世代にとって、安心して
ずっと暮らし続けたい地域

(主な意見)

- ・住みやすいまち
- ・高齢者に住みよいまちづくり
- ・交通の整備 など



【白木地域の目指すべき姿】

自然とともに、活気あふれる楽しい地域
いつでも戻ってきたくなる地域

(主な意見)

- ・生まれて最後まで一生を送りたくくなるような地域
- ・戻ってきたくくなるような地域として、地域の活性



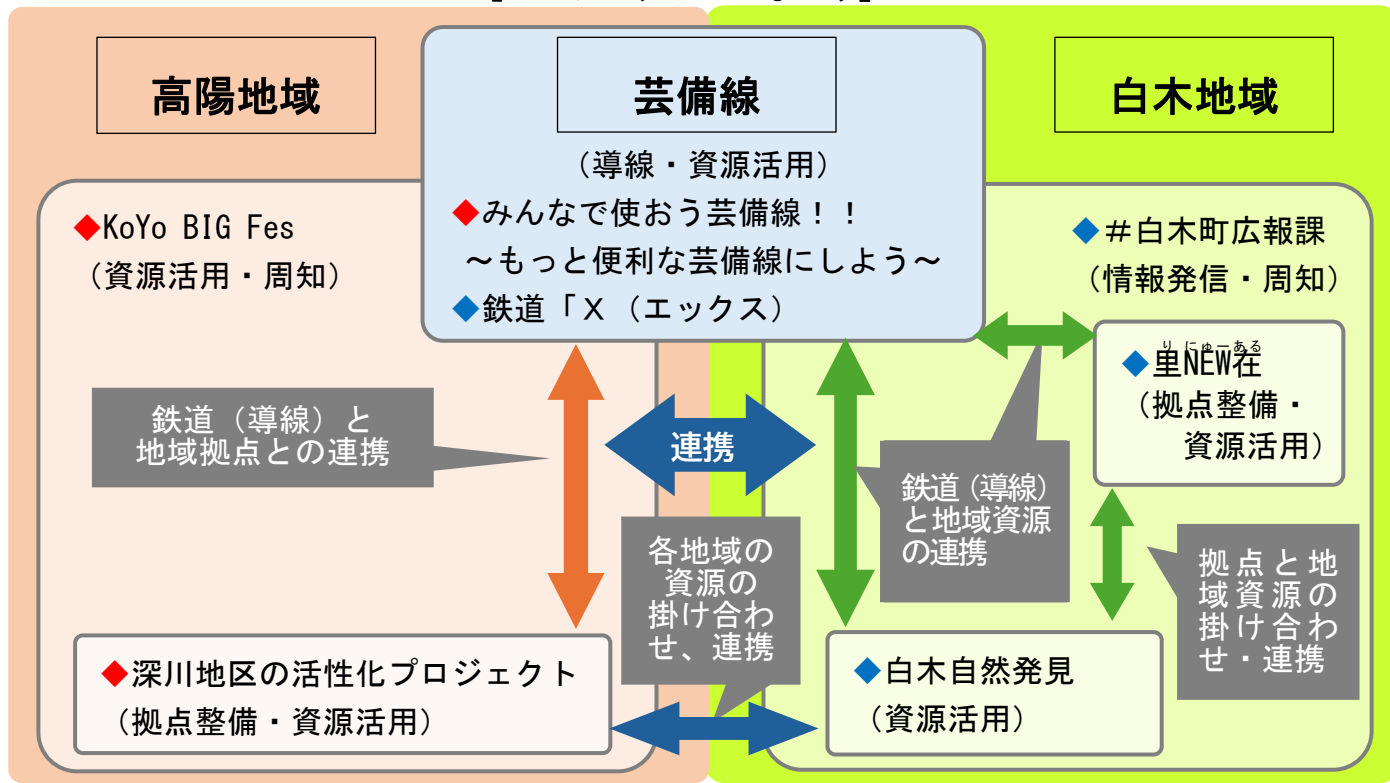
6 取組の方向性及び具体的なプロジェクト

地域	取組の方向性	プロジェクト名	短期的（1～3年）な主な取組	中・長期的（4～10年）な主な取組
高陽	芸備線の活性化	◆みんなで使おう芸備線！！ ～もっと便利な芸備線にしよう～	➢住民意識アンケートの実施 ➢話題性による集客（高陽・白木でのイベント、JRとの地域イベント） ➢地域の特産品の宣伝 ➢生活バスのサブスク化 ➢芸備線スタンプラリー	➢駅周辺へ飲食店を誘致→パーク・アンド・ライド、駅周辺の整備 ➢各地域の特産品とリンクしあった地域起こし
	みんなが集まれるイベントを企画する	◆KoYo BIG Fes	➢地域イベントとの共同実施（MUSICステージ発表、フリーマーケットの開催、地域の伝統「神楽」の競演など） ➢SNS、地域の学校・会社への告知協力依頼	➢音楽フェス ➢クリスマスマーケット ➢荒谷山雲海ツアー ➢花火
	高陽体育館の建替え	◆深川地区の活性化プロジェクト	➢下深川駅前再開発や高陽体育館の建替えに係る地域意見の取りまとめ及び方針決定	➢芸備線との連携 ➢避難所としての活用 ➢高陽・白木スポーツ大会の開催
白木	芸備線の活性化・利用促進	◆鉄道「X(エックス)」	➢駅舎を利用（カフェ等） ➢電子決済（ICOCA）の導入（狩留家以北の駅） ➢駅周辺リーフレット・マップの作成 ➢登山道の整備	➢列車ホテルの設置（古い車両を購入し、休憩や宿泊が可能な施設に） ➢ホテル列車・雲海列車の定期運行
	自然の有効活用	◆白木自然発見	➢山の整備及び山ツアーの計画 ➢登山道の整備 ➢山のPR（桜まつり、ホテルまつり）	➢山イベントの開催（薪割り体験、丸太切り体験、椎茸づくり） ➢登山道の整備（継続実施） ➢山のPR（継続実施）
	既にあるものを活かした取組	◆里New在	➢場づくり（機会・仲間） ➢意見交換による意識改革 ➢既存施設の発掘	➢世代交代に向けての意識改革 ➢場づくりの拡充
	情報発信	◆#白木町広報課	➢組織の構築 ➢地域別の情報をまとめるルートの構築 ➢TikTokやInstagramでの情報発信（「#白木町広報課」をつけて投稿してもらう）	➢YouTubeチャンネルの開設 ➢白木町の情報番組による情報発信

7 プランの推進に向けて（各プロジェクトのつながりのイメージ）

活性化プランの推進に当たっては、芸備線や地域資源の利活用といった両地域に共通する要素を軸に、プロジェクト間の連携や地域間の連携などを意識しながら、目指すべき姿の実現に向かって各プロジェクトを着実に進めていきます。

【プロジェクトのつながり】



参考：高陽地域・白木地域活性化プラン策定の検討状況

活性化プランの検討に当たり、計4回のワークショップを令和6年度に開催しました。

第1回 7月27日

【全体会①】テーマ：両地域の“これまで”と“未来”について語る！

第2回 9月28日（白木地域）、9月29日（高陽地域）

【地域別①】テーマ未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討！①

第3回 11月24日（高陽地域）、11月30日（白木地域）

【地域別②】テーマ：未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討！②

第4回 1月25日

【全体会②】テーマ：これから目指すまちの姿の実現に向けて！

活性化プランのとりまとめ



編集：高陽地域・白木地域活性化プラン作成検討ワークショップ